

国立研究開発法人水産研究・教育機構  
令和4年度第3回契約監視委員会議事概要

1. 日時 令和4年11月2日（水） 14:00～16:00
2. 場所 テクノウェイブ100 1階 第1会議室  
(神奈川県横浜市神奈川区新浦島町1-1-25)  
※ Web会議システムを併用して開催
3. 出席者 委員長 蒲池 孝一 公認会計士  
委員 藏本 隆 公認会計士  
委員 高本 雅通 (株)神奈川新聞社 経営戦略本部事務局長  
委員 原口 淳一 (研)水産研究・教育機構 監事  
委員 浜野 かおる (研)水産研究・教育機構 監事  
(研)水産研究・教育機構事務局  
※星原 正明委員は欠席
4. 議題 ①令和4年度第1四半期の契約実績及び入札等に関するアンケート調査結果  
②令和4年度第1四半期の契約の抽出案件についての点検  
③その他

5. 議事概要

・議題 ①令和4年度第1四半期の契約実績及び入札等に関するアンケート調査結果

令和4年度第1四半期の契約実績及び入札等に関するアンケート調査結果について、事務局から資料に基づき説明があり、審議を行った。

主な質疑応答は、次のとおり。

○資源が高騰して、円安が進んでいる状況ですが、価格が乱高下しているなか価格の変動には、どのような対応しているのか。

→中小企業者向けの契約の方針があり、その中では、契約後に人件費の高騰や資材の高騰に係る値上がり分については、変更契約などで対応できるよう配慮する方針を立てています。昨年度ですと、人件費率が高い清掃業務や分析業務などの役務契約については、請負業者の方に変更契約の意思があるか確認を行い、変更契約により価格を上げた実績があります。

○低入札価格調査制度は、機構では適用されたことはあるか。

→工事入札で何例かございます。その結果、スケールメリットを活かした資材調達ができるとの意見をいただき履行可能であると判断をしています。

・議題 ②令和4年度第1四半期の契約の抽出案件についての点検

令和4年度第1四半期に締結された契約の中から委員により抽出された8件の契約について、審議を行った。

各案件についての主な質疑応答は、次のとおり。

(競争性のない随意契約)

「令和4年度有明海・八代海等再生評価支援(有明海二枚貝類の減少要因解明等調査)業務」

特になし。

(一者応札、高落札率)

(単価契約) 冷凍餌料

特になし。

(一者応札、高落札率)

サイリスタユニット

○本体装置は古いものようだが、対応年数、今後の寿命はどれくらいか。

→漁船推進性能実験棟が1986年ですので35年、海洋工学総合実験棟が1992年ですので30年が経過しています。対応年数については、駆動ユニットであるため、何年とは明確には言えませんが、経年劣化で性能が徐々に落ちています。

○予定価格を積算する際、納入可能業者から参考資料を徴しているとのことだが、結果的に応札業者から徴収しているのか。

→応札業者から参考資料を徴収しています。

○参考見積書を徴収した業者と応札した業者は同じ業者なのか。

→同じ業者です。

○公募にかけるような場合では、納入が見込まれる業者として参考見積を徴収する業者と落札業者がかぶってしまうことは本件に限らず良くあることなのか。

→あると思います。特殊なケースですと複数の業者が製造していないことが少なくありません。

○参考資料を提出し応札した業者は、予定価格の価格設定をかなりの精度で推察できる可能性があるということか。

→可能性がないとは言えません。

○機構内で価格の精査は行っているのか。専門的過ぎて、なかなかできない場合もあるのかもしれないが、本件の場合はどうなのか。  
→本件は専門性の高い案件であり、類似物品の購入実績もないため難しいと思います。

### (一者応札、高落札率)

#### 横浜庁舎R I 実験施設管理区域送風機取替工事

○R I 実験施設とは、どのような実験を行う施設なのか。  
→放射性同位体を使用した実験区域となります。放射性同位体を生物に入れて、その動態を見るなど、生理学的な状況について放射性同位体を使って観察する実験を行う施設です。

○入札不参加の業者からの聞き取りで、「放射能を扱う特殊な環境下なため、履行にあたりリスクがある」とあるが、実際にはアイソトープを使用するような作業ではないと思うが、作業内容に誤解があるのではないか。  
→R I そのものに直接触れる作業は極めて少ないのですが、可能性がゼロではありませんし、工事行う前の汚染調査、場合によっては除染作業が発生することもあります。R I 管理区域の工事に伴って発生する汚染された廃棄物の処理については、法によって許可を受けたのみが対応可能ですので、一般業者が参入することは難しいと考えられます。

○R I 管理区域の工事に伴って発生する汚染された廃棄物の処理については、法によって許可を受けたのみが対応可能とのことだが、どのように定められているのか。  
→放射性同位体元素等の規制に関する法律に基づいて制定された国の政令等により一定の基準を満たした業者が許可を受けています。

○指定を受けている業者どれくらいあるのか。  
→一般の空調設備業者に比べれば非常に少ないです。

### (2 カ年連続一者応札、高落札率)

#### 海洋水産資源開発事業（いか釣：北太平洋海域）に係る用船

○予定価格の積算方法について、入札への参加を見込めるものから参考資料を徴収しとあるが、これは複数者から取っているのか。  
→一者からです。

○一者は、落札業者か。  
→類似のいか釣り用船の資料を参考にしています。

○契約方式を総合評価落札方式としたのはなぜか。  
→本調査は、技術的に一定の水準を必要としており、技術的な観点からも審査したいことから総合評価落札を採用しています。

○総合評価落札方式の場合は、契約事務取扱規程によるとあらかじめ理事長の承認が必要となっているが、手続きは済ませているのか。

→理事長決裁を受けたうえで、契約事務を進めています。

○契約事務取扱規程では、総合評価落札方式の実施にあたって、契約毎に入札関する基準を設けることになっているが、この基準は設けているのか。

→設けています。

#### (一者応札)

##### 長崎庁舎・五島庁舎自家用電気工作物保安管理業務

○落札率がかなり低いものとなっており、予定価格の積算について、積算の妥当性を検証した方が良いのではないかと考えますので、今後の業務において、検討願います。

#### (2カ年連続一者応札、高落札率)

##### 定置網漁業に係る新規操業モデル開発支援業務（佐賀県玄海地区）

特になし。

#### (一者応札)

##### 次世代シーケンス解析支援・開発支援業務

○改善方策のところ、同業他社へ声掛けを行うとなっているが、同業者はどれくらいあるものなのか。

→解析業務を行える業者は、何社かありますが、必要な専門知識をもった者をどれだけ用意できるかとなると何社あるのかはわかりませんので、今後、確認いたします。

#### ・議題 ④その他

事務局から、次回の令和4年度第4回委員会の議題は、令和4年度第2四半期における契約案件についての点検を行う予定としている。開催時期については、令和5年2月下旬を予定している。今後の新型コロナウイルス感染状況等を見ながら、開催時期、開催方法を調整してまいりたい旨の報告があった。